

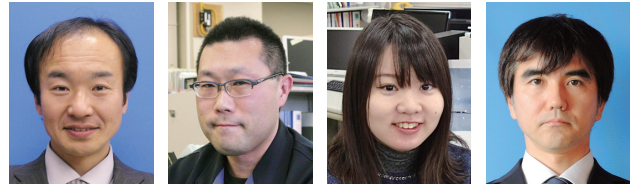
B-DASH プロジェクト(都市域における局所的集中豪雨に対する雨水管理技術)のガイドライン策定

(研究期間：平成 27 年度～平成 28 年度)

下水道研究部 下水道研究室

室長 岩崎 宏和 主任研究官 松浦 達郎 研究員 中村 裕美 交流研究員 近藤 浩毅

(キーワード) B-DASH、都市浸水対策、自助・共助



1. はじめに

国土交通省では2011年度より下水道革新的技術実証事業 (B-DASHプロジェクト) を実施しており、国総研下水道研究部がその実施機関となっている。

今回、2015年度に採択された都市浸水対策に関する革新的技術、「都市域における局所的集中豪雨に対する雨水管理技術」(以下、本技術)に関して、実証研究の成果に基づき、地方公共団体および有識者の意見も踏まえ、技術導入ガイドラインを策定した。

2. 実証技術の概要

本技術は、レーダ雨量計と水位計によって把握した情報を基に、リアルタイムで降雨予測および流出解析を実施し、予測された下水管路内水位や内水による浸水情報を施設管理者や住民へ提供する。これにより、雨水貯留管等の既存浸水対策施設の効果的運転や、自助・共助活動の促進につなげ、内水による浸水被害の軽減を可能とする技術である(図-1参照)。

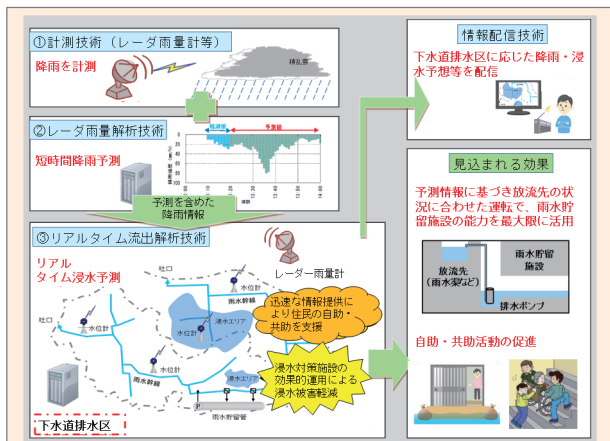


図-1 本技術の概要

3. ガイドラインの構成

図-2に、今回策定したガイドラインの構成を示す。まず2・3章により、本技術の特徴や性能等を把握し、評価項目を確認する。次に、第4章において、対象とする地区での導入効果を試算し、導入効果が高いと判断された場合は、第5章に基づいて具体的な導入計画やシステムの構築について検討を行う。なお、本技術導入後の運用方法等は第6章に記載している。

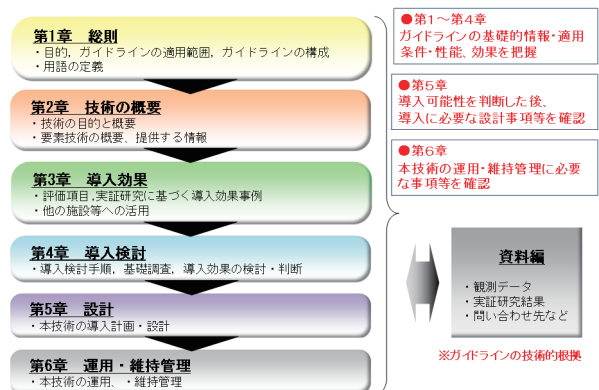


図-2 ガイドラインの構成

4. 成果の活用及び今後の展開

本ガイドラインを、下水道施設を実際に管理する地方公共団体や下水道関係企業等に紹介するため、2017年8月に東京ビッグサイトにてガイドライン説明会を開催し、約80名の方々に参加頂いた。今後もこのような説明会等によりガイドラインを積極的に紹介し、都市における浸水被害軽減につながるよう技術の普及に努めていく予定である。

詳細情報はこちら

1) 国総研資料 No. 998

<http://www.nilim.go.jp/lab/ebg/b-dash.html>